

2020年11月9日

「空見スラッジリサイクルセンター下水汚泥固形燃料化事業」運営開始

日本メンテナンスエンジニアリング株式会社（社長：田伏 重成、本社：大阪市北区、以下「当社」）が出資する特別目的会社「空見バイオパートナーズ株式会社」（所在地：愛知県名古屋市）は名古屋市上下水道局から受託している「空見スラッジリサイクルセンター下水汚泥固形燃料化事業（以下「本事業」）向けに下水汚泥を燃料化する「空見スラッジリサイクルセンター下水汚泥固形燃料化施設」を竣工し、11月1日より、運營業務を開始いたしました。

また、11月2日の完成式には、名古屋市上下水道局 飯田局長など関係者、約20人が参加しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模縮小し「3密」を避け感染防止対策を徹底し開催されました。

これまで下水処理の過程で発生する下水汚泥は全量焼却処理し、その焼却灰を主にセメント原料として有効利用されてきましたが、本事業では、新たにこの下水汚泥の一部を固形燃料化物として製造し、石炭等の代替燃料として利用します。これにより、バイオマスエネルギーである下水汚泥の有効活用及び温室効果ガス排出量の削減に貢献することができます。

当社は、本事業の受注により、下水汚泥燃料化事業（DBO方式）の受注実績は京都府、広島県に続き3件となります。

今後20年間にわたり、当社は「空見バイオパートナーズ株式会社」で、施設の運転・機械修繕を行い、下水汚泥の有効利用および温室効果ガス排出量の削減に寄与してまいります。

【 1. 事業概要 】

事業名	空見スラッジリサイクルセンター下水污泥固形燃料化事業		
事業場所	名古屋市港区空見町1番5		
契約金額	19,930百万円（税抜）		
事業方式	DBO方式（Design, Build and Operate） 施設の設計（Design）、建設（Build）および運転・維持管理（Operate）を一括で行う事業		
事業期間	設計・建設期間：	2017年2月16日～2020年10月31日	
	運営・維持管理期間：	2020年11月1日～2040年10月31日	
施設規模	200wet-t/日		

【 2.空見バイオパートナーズ株式会社の概要 】

設立	2016年12月20日		
所在地	愛知県名古屋市西区名駅2丁目27番8号		
代表者	代表取締役社長 塚本 繁之（メタウォーター株式会社）		
資本金	100百万円		
構成企業および役割			

メタウォーター株式会社（代表企業）	設計・建設、運営・維持管理・SPC管理・運転 ・修繕などの全体とりまとめ
日鉄エンジニアリング株式会社	プラント設備の設計・建設
日本メンテナンスエンジニアリング株式会社	施設運転・機械修繕
メタウォーターサービス株式会社	施設運転
バイオ燃料株式会社	モニタリング



施設全景



乾燥ドラム



固形燃料化物

【問い合わせ先】	営業部 Tel: 06-6355-3003
	e-mail: eigyou@jme-net.co.jp
	URL http://www.jme-net.co.jp/